

令和3年度 建設部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	令和3年度の実施状況報告							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	・空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による空き家等の発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、所有者等への情報発信や相談への対応、特定空家等の除却・解体支援等を行いました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	85.1	83.3	81.0	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	54.2	58.9	52.1	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.3	93.9	93.0	↗
	建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「空家等対策推進事業」 管理不全な空き家の解消件数		件	-	35	9	12	↗	
政策 05 都市 基盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	令和3年度の実施状況報告							
	05-01 市街地整備の推進							
	・市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新築団地の建替えを進めており、E棟(49戸)が完成しました。							
	05-02 交通環境の充実							
	・安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の都市計画道路や拡幅などが必要な幹線道路等の整備に取り組み、利用者が安心して通行できる道路環境づくりを進めます。令和3年度は、幹線道路等の整備に向けた測量、工事、用地取得及び物件補償等を行いました。 ・冬期間の交通の確保では、降雪や道路状況に応じた除排雪作業を実施したほか、除雪車両の更新を行いました。また、記録的な大雪に伴い、除排雪体制の増強のほか、除排雪作業の状況や通行止め、不要不急の外出の自粛要請など、市民への情報発信の強化に努めました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり(～R2年度まで)、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	82.7	82.7	81.9	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	66.6	64.3	57.2	↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「新築団地建替事業」 建替戸数		戸	48	192	192	241	↗	

2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 建設部の資源

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	5,250,913	5,463,515	4,875,577	3,891,120	5,322,086
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	5,250,913	5,463,515	4,875,577	3,891,120	5,322,086
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	73.00	73.00	72.00	69.00	68.00
	平均単価 (b)	7,618	7,627	7,687	7,629	7,607
	人件費 (a×b)	556,114	556,771	553,464	526,401	517,276
総 額		5,807,027	6,020,286	5,429,041	4,417,521	5,839,362